

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

I. 理念に基づく運営	項目数	11
1. 理念の共有		2
2. 地域との支えあい		1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用		3
4. 理念を実践するための体制		3
5. 人材の育成と支援		2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援		2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応		1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援		1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント		6
1. 一人ひとりの把握		1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し		2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援		1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働		2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援		11
1. その人らしい暮らしの支援		9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり		2
合計		30

事業所番号	1492500028
法人名	株式会社 ウイズネット
事業所名	みんなの家 逗子
訪問調査日	平成21年3月18日
評価確定日	平成21年5月7日
評価機関名	福祉サービス第三者評価機関しょうなん 株式会社フィールズ

○項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法

【取り組みの事実】

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

【取り組みを期待したい項目】

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。

【取り組みを期待したい内容】

「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明

家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族＝家族に限定しています。

運営者＝事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員＝管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム＝管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

[認知症対応型共同生活介護用]

作成日 平成 21年 4月 10日

【評価実施概要】

事業所番号	第1492500028号
法人名	株式会社 ウイズネット
事業所名	みんなの家 逗子
所在地	逗子市新宿4-16-1 (電 話) 046-870-5655

評価機関名	福祉サービス第三者評価機関しょうなん株式会社フィールズ		
所在地	藤沢市鵠沼橋1-2-4 クゲヌマファースト3F		
訪問調査日	平成21年3月18日	評価確定日	平成21年5月7日

【情報提供票より】(平成 21年 2月 13日事務所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 19年 2月 1日			
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計 18人		
職員数	16人	常勤 7人	非常勤 9人	常勤換算 12.7人

(2) 建物概要

建物構造	(軽量鉄骨) 造り
	2 階建ての 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	64,000 円	その他の経費(月額)	16,000 円
敷 金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	120,000円	有りの場合 償却の有無	有
食材料費	朝食 370 円	昼食 490 円	
	夕食 490 円	おやつ 100 円	
	または1日当たり	1,450 円	

(4) 利用者の概要 (2月13日 現在)

利用者人数	18 名	男性 4 名	女性 14 名
要介護1	名	要介護2 7 名	
要介護3	3 名	要介護4 8 名	
要介護5	名	要支援2 名	
年齢	平均 86.9 歳	最低 76 歳	最高 100 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	湘南記念逗子クリニック 湘南記念病院 中川歯科診療所
---------	----------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当ホームはJR逗子駅から鎌倉行きバスで10分程の亀ヶ岡バス停の隣で、近くには小坪港や小学校、コンビニ、公民館などがあります。建物は真新しい木造の2ユニット型で玄関を入ると広いロビーがあり、利用者の方々がそれぞれくつろいでいます。ホームの行事について年間計画表が作成され、年間を通して配慮されています。

ホーム長や職員も近隣に住んでおり地域の人達に受け入れられています。家族会は定期的に開催され、また自治会長や民生委員、市、包括支援センターの人達との運営推進会議も多くの方々の意見交換が活発で防災訓練なども実施されています。母体の法人は首都圏で多くの認知症のグループホームを運営しており、そのノウハウは施設の造りや利用者の日常生活や職員の養成に活かされています。重度化した場合や終末期の対応については医療機関と即座に対応出来る連携体制が確立されています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) 市や包括支援センターの職員が積極的に参加される運営推進会議により交流が進み、市内の他の施設の利用者の方々が訪問され、交歓会も実現しました。ホーム長同士の勉強会により意見交換や情報の共有化が図られています。 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 職員全員で評価することにより、多くの気づきを発見し職員の意識合わせやサービスの向上に活用しています。運営推進会議における研修会に職員が参加することにより介護サービスの向上やケアのあり方についても職員間の情報交換がより密に図られています。避難訓練は地域と一体となって現実的な訓練の実施を検討しています。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 運営推進会議には市・包括支援センターの職員、町内会会長、民生委員、家族、利用者、協力医療機関の医師などが参加し、事業計画や自己評価の実施、その期間の行事の内容(七夕、バーベキュー、誕生会、防災訓練など)について報告されています。また参加された方々からはケアに対する質問や見守り・避難訓練などについても意見交換されています。会議の中での認知症についての研修会により地域とのつながりが深まり、理解者が多くなっています。ボランティアによる地域資源のサービスも実現化しています。
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 契約時にホーム内の窓口や本社の相談室についてわかり易く説明しています。家族は近隣の方が多く、訪問も日常的です。家族から、誕生会やお節料理の手伝いや入浴、外出のボランティアも積極的です。このため家族と職員との会話の機会が多く、ふだんから運営に反映されています。毎月「一言通信」を発行し、利用者の日々の様子、医師からの所見、レクリエーションの予定・実施、金銭管理の報告をお知らせしています。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 地域区会に法人として加入しています。お祭りに時に休息場所の提供や近隣の方々にお茶をふるまったり、子供たちにキャンディをプレゼントし、交流が深まりました。又、町内会館で行われている高齢者支援サークルに可能な限り参加して、地域との良い関係が築かれています。

2. 評価結果(詳細)

(☐ 部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ホーム長を含め職員のほとんどが施設の近隣に住んでおり、特にホーム長は町内会の役員をしていたなど理念通り、地域に根ざしたグループホームです。各種の行事に参加して地元の人々と交流することに努力しています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を共有し、具体化するために施設独自の目標を作成しています。地域交流の場に一員として参加することにより、その人らしく暮らし続けることが出来るということを職員と一緒に地域活動の中で実現しています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	前年は開所間もなかったので交流が少なかったが現ホーム長は町内の地区長をしていたりして近隣の方々とは顔なじみです。地域の行事や祭事、老人会などに利用者、職員が積極的に参加しています。運営推進会議では地元の人達を交え、認知症の勉強会も実施しています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	全職員に評価の意義や狙いを説明し、各自にコピーし職員自身がケアを見直しながら記入し、ホーム長が確認の上、総合的にまとめています。評価することにより多くの気づきを発見し職員の意識合わせやサービスの質の向上に活用しています。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議には包括支援センターや市の職員、地元の民生委員、町内会長、家族、利用者と共に協力医療機関の医師も参加されています。事業計画をはじめ日常のサービスやその時々行事を報告しています。地元の消防訓練などに参加して地元とのつながりが深まり、理解者や応援者が増えています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議の地道な活動により消防関係やボランティアの協力だけでなくサービス支援における諸々の問題解決のため市の福祉課の担当者と情報交換をしています。会議に参加される包括支援センターの担当者を通じて、より協働関係が図られています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族会を通して行事の方針・目標・反省、入居者の情報や防災関連の報告が定期的に行われています。家族別には利用者の暮らしぶり、金銭管理や医師の所見などを「一言通信」により家族に報告しています。家族からも食事の手伝いや外出の支援も身内などに限らず行われています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議や家族会などの積極的な開催により家族から意見が自然に出されています。それらは各フロアのスタッフ会議や全体会議で意見交換されたり、個人面談で解決されています。ホーム内の窓口については文章で説明されているとともに本社にも相談室が設置されています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	居室担当の職員だけでなくホーム長も馴染みの関係になっており交替のダメージを防いでいます。会社内の異動により急な人員の補充も可能でシフト制の交替を利用して気がつかないように配慮しています。毎日の申送りノートや各フロア会議により情報の共有化を図り、利用者が不安にならない様に配慮しています。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	本部で年間の研修計画が立てられ、毎月各種の研修会の機会が確保されています。参加する場合は有給休暇扱いで施設としても実務に支障をきたさない範囲内で積極的な参加を呼びかけています。外部から講師を招いたり、社内のスーパーバイザーにより身近なテーマの勉強会も開催しています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市内にはグループホームの数が少なく協議会は誕生していませんが、ホーム長同士の話し合いをはじめ交流会を不定期に行ってサービスの向上を図っています。法人内部の他の施設とはホーム長会議をはじめ多くの研修会や安全対策委員会などにより職員のレベルアップを図っています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人・家族から利用の相談があり、見学の後、本部を通して専門の担当者が利用に至るまでを説明しています。その後、施設に立ち寄って職員や他の利用者と一緒に過ごしてホームの雰囲気、サービスを理解してもらっています。馴染みの関係を作りながら本人の安心と納得を確認しています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	日々の生活を家庭生活の延長と考え、喜怒哀楽を職員も共にし、一人ひとりに合わせた生活を送っています。本人の習慣、趣味、生き方など十分把握し、一人ひとりの言動から分かり合い喜びや楽しみを共感しています。		
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	普段の関わりの中で思い出話などを伺うことで、ご本人の趣味や積み重ねてきた習い事などを聞き取り、内なる思いを読み取って、ご本人の意向の把握に努めています。面会時や行事にご参加いただいた際などに、ご家族からお話を伺って、情報を取り入れるようにしています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ご本人との日々の関わりの中で見出した課題や、また職員間の情報交換を通して気付いたケアのあり方について、ご家族を交えての話し合いを持ち、それぞれの思いを反映した介護計画の作成を心がけています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的にモニタリングを行い、変化があった場合には職員間で話し合いを持って、現状に即した介護計画を作成しています。急な心身の変化があった場合は、臨機応変に介護計画の見直しを行い、ご家族と連絡を取りつつ、ご本人の要望に応えるよう心がけています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	通院は家族対応となっていますが、どうしてもご家族が対応できない場合には、送迎等スタッフで柔軟に対応しています。リハビリマッサージやシニアセラピーなどを希望される利用者には、場所を提供して外部から招いています。また、理容・美容も、ホームに来てもらっています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入所の際に、充分に説明をして、事業所が提携する内科医への移行をお願いしていますが、希望があれば、入所前からのかかりつけ医での医療も受けられるよう配慮しています。眼科や歯科等の専門医の受診については、自由に主治医を選んでいきます。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期の対応については、ご本人やご家族の希望に添いながら、事業所でできる最大限の支援を行うという方針を、スタッフ全員で共有しています。急変した場合、即座に対応ができるよう医療機関との緊密な連携体制を図っています。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	プライバシーに関わる声かけ等が必要な際には、目立たない、またさりげない対応が図られています。利用者の尊厳と誇りを損なうことがないよう、まずご本人の意思を確認した上での支援を心がけています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	生活の場面で一人ひとりの状態や思いに配慮しながら柔軟に対応しています。朝食時間は決められていますが朝が苦手な方にはその方のペースに合わせて対応しています。利用者個々の状態に配慮した見守り・声かけをすることで残存機能を活かし、希望に沿った支援を行っています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理した盛りつけ、配膳等、一人ひとりのできることに応じて、職員と一緒に食事の準備をしています。職員も利用者と同じテーブルを囲み音楽を流して、食事を楽しむ雰囲気作りを行っています。行事等の際には、小坪港から仕入れたお刺身や仕出し弁当といった特別メニューが用意され、利用者の楽しみの一つになっています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴したい日、希望する時間に、入浴しています。仲の良い方同士や職員と1対1でゆっくり話しながら心身共にゆったりとくつろぐ時間となるよう配慮しています。拒否される方については、少し間をおいてあらためて声かけしたり、職員が変わったりして、一人ひとりに合わせた支援を行っています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	生活歴を把握して、それぞれに持っている能力や記憶を活かし、プランターでの野菜作り、台所での食器洗い、洗濯物干しといった役割で、力を発揮しています。近くの公園にお弁当を持って花見に出かけたり、地域の運動会や文化祭といった行事に参加したりして、気晴らしの支援を行っています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	それぞれの希望に応じて、職員が付き添い、近くのお店に買い物に出かけています。また、希望の品物が近くの店にない場合には、職員と一緒に、バスで買い物に出かけています。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵を掛けない暮らしの大切さは全職員が認識し、鍵を掛けない支援を行っています。ただ、玄関を出た所がすぐに道路というホームの立地条件から、玄関についてはご家族の同意の上、施錠し、セキュリティーによる対応を行っています。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回定期的に防災訓練を行っています。利用者全員が防災ずきんを持ち、階段を下りる際の状態等を把握して、緊急時に備えています。確立されている地域との密接な関係を活かし、今後、地域の方と一体になった防災訓練の実施を検討しています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分の摂取状況は毎日記録し、職員間で情報を共有しています。水分は、お茶、麦茶、コーヒー、紅茶など好みのもので対応していますが、ジュース等も施設内の自動販売機で購入できます。食事形態は、一人ひとりの状態に応じて一口大、きざみ、ミキサー、トロミ食などで対応しています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間の照明は、まぶしさのない柔らかい明かりで統一され、落ち着いた雰囲気を演出しています。また、季節を感じさせる花が飾られています。夕食の調理の匂いがただよってくる中、隣接する学童保育施設からの元気な子どもたちの声が明るく反響して、午後の心和ませるひとときを実現しています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	仏壇やアルバム以外にも、日常ご本人が使いなれた日用品や馴染みの品物が身近に置かれ、ご本人が安心して過ごせるような居室となるよう配慮しています。		

自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目（例えば、下記項目のⅡやⅢ等）から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

○記入方法

【取り組みの事実】

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。（実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入）

【取り組んでいきたい項目】

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

【取り組んでいきたい内容】

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】（アウトカム項目の後にある欄です）

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語の説明

家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家 族＝家族に限定しています。

運営者＝事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員＝管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム＝管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目（№1から№87）とサービスの成果（アウトカム）の項目（№88から№100）の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	グループホームみんなの家 逗子
（ユニット名）	1ユニット
所在地 （県・市町村名）	神奈川県逗子市新宿4-16-1
記入者名 （管理者）	酒井香里
記入日	平成 21 年 2 月 16 日

地域密着型サービス評価の自己評価票

(☐ 部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念を基に地域に根ざした明るく楽しいホーム創りを！！を実施しており、行事という形を通して、地域の催しに参加させて頂いております。	
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者や職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を常に意識し、共有、実践できるよう努力しています。毎朝の申し送り前に皆で復唱し、確認し合い一日を始めるようにしています。	
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	毎月のお便りや一言通信において、または面会時に御家族様に伝えています。また、市役所や他の事業所等に事業所のパンフレットを配布しております。	
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	日常的に散歩に出かけて近所の人とお話をしたり気軽に立ち寄ってもらえるように雰囲気作り心掛けています。隣の会館を利用して地域とのお付き合いも行なっています。	
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	今年度、地域の行事に参加することを行なって参りました。幼稚園を訪問、小学校の運動会参加、小坪祭礼参加、敬老会・文化祭参加・地区運動会参加と地域の一員としてホームを認識して頂き、地元の人々との交流に務めて参りました。	○ 運営推進会議時、認知症についての勉強会一回目を開催致しました。今後もすすめていきたいと思っています。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	運営推進会議等の中で高齢の方の抱えている問題等話し合っております。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	スタッフ全員で自己評価も行ないました。また、心を新たに取り組んでいきたいと思います。		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議で協力医療機関Dr・自治会行事での協力に来て下さった方、御家族・市役所の方等招き話し合いを行い、それを全体会議でスタッフに伝え、サービスの向上に生かしております。		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議、状態報告・研修等、その他月に一度、市役所に伺い、施設の状況を報告・相談をするなど努めております。		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	会社の行なっている会議で研修が開催され、当ホームの場合はどのように支援できるかを、全体会議で話し合い、皆で共有理解し支援に結びつけております。		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	会社の取り組みとして安全対策委員会があり、毎月スタッフが研修に参加しています。それをスタッフが共有理解をし、ケアにあたっている為、虐待の事実はありません。ホームでは自己決定の尊重、コミュニケーションを図り、防止の徹底に努めております。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時、御家族様に納得して頂けるように説明しております。また、面会時等に抱えている悩みや不安があれば聞かせて頂き理解するように努めております。		
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	要望・苦情の箱の設置。その都度、問題解決に向け申し送りやカンファレンス等で話しをしております。		
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月、月初めから中旬にかけて、各御家族様宛にDr (内科・歯科) の所見・生活の様子・金銭などの報告を兼ねて、『一言通信』を送らせて頂いております。		
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	相談・苦情等、ホーム内に窓口があります。御家族様へは、利用方法を文章と口頭にて説明し、お伝えしております。また、お客様相談室は、本社にもございます。		
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	各フロアのスタッフ会議や、全体会議の中で意見や提案は、交換するよう務めております。また、個人面談も実施しております。		
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	状況に応じて、管理者が勤務調整を行なっています。		
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動や離職の際は、ご利用者様が不安にならないように配慮し、いつも通りのケアが出来るよう、人員の補充やボランティアに来てもらうなどしております。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内・社外の研修に参加しております。		
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市内にある他の施設との行事を通しての交流会を持ち、サービスの質を向上させていくことを進めております。		
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	スタッフ一人一人に、1日1回は声かけをするように取り組んでいます。また、個々に話し合いをする場を設けております。		
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	フロア会議などで、向上心を持てる様に、スタッフが一つの議題について話し合っています。また、今年度、フロア長の交換研修があり、向上心を高め合う事が出来ました。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	ご利用者様の事前面談で、これまでの生活歴を伺い、ご本人様の求めている事、不安な事を理解し、受け止める努力をしております。		
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	面会時、一言通信や電話等で御家族様とのコミュニケーションを取り、どんな事でも対応できるよう、スタッフ間で話し合いながら、御家族様との信頼を深めるよう努力しております。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談の電話や、面会に来られた際、その時のご本人様の状態等を把握し、様々な観点から考えたサービスの提供を行なうよう努力しております。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ご本人様・御家族様が見学に来られた時、ここの雰囲気を見ていただき、施設の説明を行なう他、ご利用者様やスタッフとお話をされ、馴染めるように御家族様と相談しながら、支援の方法を工夫しています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	介護する側・される側関係なく、ひとつの家族として、個々に合わせた生活が送れるよう、努力しております。明るく楽しくまた、意思表示がきちんと出来るよう、ご利用者様を巻き込んだ生活をして、互いの信頼関係を築いております。		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	御家族様にお便りなどを通し、行事への参加を呼びかけ、ご利用者自身の事やホームの事を、より理解していただき、一緒に本人を支えていく関係を築いています。共に、笑顔になれる場を多く提供しています。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	ご利用者様の日頃の状況を随時報告・相談すると共に、外出行事等に参加して頂き、ご本人と家族との関係がより深まるよう支援しています。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	地域行事への参加を通し、ご本人様の馴染みの人や、場所との関係が途切れない様に支援しております。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	ご利用者様同士の関係がうまくいく様に席替えをしたり、会話の橋渡しをしたりしています。ご利用者様が孤立しないよう配慮しながら、お手伝いをお願いしたり、お声かけを日々行なっております。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用 (契約) が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退所後も、現在の様子を伺ったり、行事等お声かけをして参加して頂くよう努力しています。		
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常の様子から、ご本人様の意向を推察したり、御家族様からの情報・意向を把握し、早めに対応するよう心掛けています。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時の情報・御家族様からの情報を総括し、日常の様子などから一人一人の暮らし方を把握するように努めております。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	ご利用者様一人一人の生活リズムを理解し、その日の心身状態を総合的に把握するように努めております。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	カンファレンスで話し合い、アセスメントにより、御家族様の同意を得ています。	○	御家族様・ご本人様参加型のカンファレンスを可能な限り実施していきたいです。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的 (3ヶ月毎)、若しくは、介護度が変更した場合等必要に応じてカンファレンスを開催し、話し合いを行なっています。また、御家族様にも現在の状況を説明し、お考え等を伺い、現状に即した介護計画の作成に努めています。		

項 目			(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個々の体調面を把握し、その日の状態を申し送りにて共有する他、生活記録にて、過去、何日かの様子を観察することで情報を共有し、実践に活かして、すばやい対応をしています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	協力医院の往診が受けられる体制があり、電話連絡・往診等の対応で、ご利用者様の安心・安全が保たれるよう支援を行っています。また、医療リハビリ等や、機関への紹介も行なっています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	運営推進会議を通し、地域の方や、消防・ボランティアにも協力を得よう努力しております。		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	訪問理容サービス・訪問リハビリの他、社内で行なっているシニアセラピー等、ご本人様や御家族様の要望に応じ、他サービスとの連携をとっております。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議に参加される方々との関わりで協力を築く努力をしています		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居の際に、御家族様・ご利用者様からのご希望で「どうしても」という場合を除き、説明し納得して頂き、提携の内科医へ移行して頂いています。また、入居の際に、御家族様・ご利用者様に、説明納得して頂き、自由に主治医を選択できるように支援しております。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	必要に応じて、御家族様に随時報告し、専門医への受診を促しております。		
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	医療連携看護師が、週1回来設する為、日常の健康管理や医療活用の支援の他、緊急時対応の勉強会も行なう事が出来ます。		
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院された際は、介護サマリーを医療機関を届け、医師・看護師に容態を伺うなど、情報交換や相談に努めています。また、御家族様・医療機関・事業所が三位一体となり協働しながら退院に向けた話し合いが持たれています。		
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ご本人様や御家族様の意向を配慮しつつ、事業所が対応出来る最大の支援方法を踏まえて、スタッフ間の話し合いが持たれ、方針を共有しております。		
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	ご利用者様の対応について、出来る事・出来ない事等を職員全体で話し合いながら、御家族様や医師と連携を図りながら支援を出来るようにと、思っています。		
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	退去の場合、アセスメント・ケアプラン・サマリーの提供をすると共に、御家族様への今までの感謝の気持ちを告げております。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1) 一人ひとりの尊重			
50 ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	やむを得ずプライバシーに立ち入らなければならないような場面においても、他のご利用者様に気付かれないような言葉かけや行動に配慮しています。		
51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	ご利用者様の生活ペースに合わせて、その人らしく生活が送れるように支援しております。また、その都度、意向を伺いし、ご利用者様の判断を仰ぐようにしております。		
52 ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々の個性を大切に、『自己決定』『残存機能の活用』するなどして、ご利用者様の意思を大切に、支援しております。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	馴染みのある行きつけの理容院があれば、行って頂き、訪問理美容を活用なさる方は、その方の意向に沿うような形で、カットして頂いています。		
54 ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の支度や、配膳・下膳などをスタッフと一緒にこなしています。また、お誕生日会や行事の際は、なるべくお好みメニューを提供出来る様に努めています。		
55 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	その人らしく生活して頂くために、タバコ・お酒などを、状況を見ながら楽しんでいただけるよう支援しています。お茶の時間などは、お好きなものを飲んで頂ける様にメニューも考え、選んで頂いております。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄チェック表を活用し、一人一人の排泄パターンを把握しています。自立した排泄に向けた支援をし、健康面でのサポートもしています。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	その人の生活を重視して、希望があり、体調が安定している場合、入浴を楽しんで頂けるように心掛けております。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	日中の活動を増やし、夜間は良眠出来るよう支援しております。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	個々の潜在している記憶や力を活かし、家事や趣味等、役割を持って頂いております。		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	スタッフの付き添いの元、出来る方は買い物の際、レジにて自分でお金を支払って頂き、おつりを確認して頂くなどの支援をしています		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	職員の付き添いの元、散歩や買い物に出かけ、季節の変化を感じ取って頂いたり、気分転換を図る支援をしています。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	季節に応じ、紅葉狩りなどの遠足に出掛けたり、御家族様に協力して頂き、外出したりと、これからも外出支援をしていきたいと思っております。	○	年に1～2回の1泊旅行は決行出来ておりません。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご利用様様の希望があれば、必要に応じて電話したり、手紙のやり取りが出来るように支援しております。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会時間を定めず、面会の際に居室などでゆっくり過ごせるよう配慮しています。また、お茶やお菓子の提供も行っています。		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束は行っていません。自由で安全な生活が一人一人出来る様に、ケアに取り組んでいます。		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	『鍵をかけなくても安心』という環境を作り、ご利用様との信頼関係を作っていけるよう日々努めております。玄関のみは、目の前が道路で、車の往来が激しいので、セキュリティーを導入しております。		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日中・夜間を問わず、所在の確認や見守りを行っています。また、危険箇所の有無も確認しております。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	注意が必要な物品の保管は、職員で把握し、管理方法を決めています。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	勉強会等で、事故報告・ヒヤリハットなどの事例を活用し、一人一人の状態を把握したケアを行うよう努めています。社内で行っている『安全対策委員会』にも参加しています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	緊急時対応マニュアルを、時々確認し、会議等においても話し合う機会を定期的に行なうよう努めております。		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	事業所の所在地区は、海と山の為、避難する場合は動けないと思います。今年度、防災頭巾を揃えました。これからも少しずつ物資を揃えていきたいと思います。	○	地域の方の協力を得ての避難訓練を実施していきたいと思います。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	日頃より、御家族様との情報交換を行なっております。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	普段の状況を把握する為に、1日2回(午前・午後)のバイタルチェックを行なっております。小さな変化も、申し送り時、スタッフ同士共有し、速やかに対応するように努めております。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬チェックを行い、薬の内容も、直ぐに目の付く所で確認しております。薬剤師による勉強会も行なっております。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	水分の摂取や運動の促進を行い、便秘を予防出来るよう、水分量のチェックや、排便の確認など行なっています。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、一人一人に合わせた対応で、口腔ケアを行なっています。月4回の歯科医による往診があり、歯科医師・歯科衛生士の指導の下、支援を行なっています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	体調や身体状態に合わせて、常食・一口大・きざみ・ミキサー・トロミ食と配慮し、無理に食すのではなく、楽しんで食事をしていただけるように心かけています。また、食事チェック表を活用し、食事量のチェックをしています。		
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	協力医療機関の勉強会に参加しております。感染症マニュアルを参考に、予防出来るよう努めています。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食材の賞味期間の確認をし、賞味期限内に必ず使用しています		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関には、絵画や花、ご入居者様の作品を飾ったり、家庭的で温かい雰囲気になるように配慮しています。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関や居間には、季節感のある物を飾るよう心かけています。トイレも気持ちよく出入り出来るように、清潔に配慮し、和やかな空間になるよう努めています。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアには、テレビやソファを置いて、家庭的な共有の空間作りをしています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時、使い慣れた日用品を持ってきて頂いており、仏壇を持参されている方もいらっしゃいます。テレビ・チェアー・アルパムなど、ご本人様が心地よく過ごせるよう配慮しております。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のとどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	定期的な換気を心掛けています。冷・暖房については、ご利用者様の状態を気にしつつ、冷やし過ぎ・暖め過ぎないように、心掛けています。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内部は、バリアフリーになっており、手すりも完備されている為、安全で自立した生活が送れます。また、1階については、窓を開けると直ぐに外に出れる為、外気浴・日光浴を楽しまれています。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	混乱や失敗をする前に、気付けるように、見守りや声かけをし、自分で出来る事はやって頂き、自立した生活を送れるよう支援しています。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	暖かい日は、イスとテーブルを外に出し、おやつを外で召し上がって頂いたりしています。		

V. サービスの成果に関する項目

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①	ほぼ全ての利用者の	
			②	利用者の2/3くらいの	
			③	利用者の1/3くらいの	
			④	ほとんど掴んでいない	
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①	毎日ある	
			②	数日に1回程度ある	
			③	たまにある	
			④	ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①	ほぼ全ての利用者が	
			②	利用者の2/3くらいが	
			③	利用者の1/3くらいが	
			④	ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①	ほぼ全ての利用者が	
			②	利用者の2/3くらいが	
			③	利用者の1/3くらいが	
			④	ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①	ほぼ全ての利用者が	
			②	利用者の2/3くらいが	
			③	利用者の1/3くらいが	
			④	ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①	ほぼ全ての利用者が	
			②	利用者の2/3くらいが	
			③	利用者の1/3くらいが	
			④	ほとんどいない	
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①	ほぼ全ての利用者が	
			②	利用者の2/3くらいが	
			③	利用者の1/3くらいが	
			④	ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①	ほぼ全ての家族と	
			②	家族の2/3くらいと	
			③	家族の1/3くらいと	
			④	ほとんどできていない	

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	☐	① ほぼ毎日のように
		☐	② 数日に1回程度
		☐	③ たまに
		☐	④ ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	☐	① 大いに増えている
		☐	② 少しずつ増えている
		☐	③ あまり増えていない
		☐	④ 全くいない
98	職員は、活き活きと働けている	☐	① ほぼ全ての職員が
		☐	② 職員の2/3くらいが
		☐	③ 職員の1/3くらいが
		☐	④ ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	☐	① ほぼ全ての利用者が
		☐	② 利用者の2/3くらいが
		☐	③ 利用者の1/3くらいが
		☐	④ ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	☐	① ほぼ全ての家族等が
		☐	② 家族等の2/3くらいが
		☐	③ 家族等の1/3くらいが
		☐	④ ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

ご入居様のお顔の表情がにこやかです。ホーム理念『地域に根ざした明るく楽しいホーム創りを！』に沿って、地域交流が多いです。それに伴い、楽しい行事も行なっています。現在、長期目標として、その方がその方らしく、元気に生活して頂く為に、＜1＞1日1回は外の空気を吸う。＜2＞毎食前の嚥下体操。を実施しております。

自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目（例えば、下記項目のⅡやⅢ等）から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
Ⅰ. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
Ⅴ. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

○記入方法

【取り組みの事実】

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。（実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入）

【取り組んでいきたい項目】

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

【取り組んでいきたい内容】

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】（アウトカム項目の後にある欄です）

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語の説明

家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家 族＝家族に限定しています。

運営者＝事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員＝管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム＝管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目（№1から№87）とサービスの成果（アウトカム）の項目（№88から№100）の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	グループホームみんなの家 逗子
（ユニット名）	2ユニット
所在地 （県・市町村名）	神奈川県逗子市新宿4-16-1
記入者名 （管理者）	酒井香里
記入日	平成 21 年 2 月 16 日

地域密着型サービス評価の自己評価票

(☐ 部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念を基に地域に根ざした明るく楽しいホーム創りを！！を実施しており、行事という形を通して、地域の催しに参加させて頂いております。	
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者や職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を常に意識し、共有、実践できるよう努力しています。毎朝の申し送り前に皆で復唱し、確認し合い一日を始めるようにしています。	
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	毎月のお便りや一言通信において、または面会時に御家族様に伝えています。また、市役所や他の事業所等に事業所のパンフレットを配布しております。	
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	日常的に散歩に出かけて近所の人とお話をしたり気軽に立ち寄ってもらえるように雰囲気作り心掛けています。隣の会館を利用して地域とのお付き合いも行なっています。	
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	今年度、地域の行事に参加することを行なって参りました。幼稚園を訪問、小学校の運動会参加、小坪祭礼参加、敬老会・文化祭参加・地区運動会参加と地域の一員としてホームを認識して頂き、地元の人々との交流に務めて参りました。	○ 運営推進会議時、認知症についての勉強会一回目を開催致しました。今後もすすめていきたいと思っています。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	運営推進会議等の中で高齢の方の抱えている問題等話し合っております。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	スタッフ全員で自己評価も行ないました。また、心を新たに取り組んでいきたいと思います。		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議で協力医療機関Dr・自治会行事での協力に来て下さった方、御家族・市役所の方等招き話し合いを行い、それを全体会議でスタッフに伝え、サービスの向上に生かしております。		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議、状態報告・研修等、その他月に一度、市役所に伺い、施設の状況を報告・相談をするなど努めております。		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	会社の行なっている会議で研修が開催され、当ホームの場合はどのように支援できるかを、全体会議で話し合い、皆で共有理解し支援に結びつけております。		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	会社の取り組みとして安全対策委員会があり、毎月スタッフが研修に参加しています。それをスタッフが共有理解をし、ケアにあたっている為、虐待の事実はありません。ホームでは自己決定の尊重、コミュニケーションを図り、防止の徹底に努めております。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時、御家族様に納得して頂けるように説明しております。また、面会時等に抱えている悩みや不安があれば聞かせて頂き理解するように努めております。		
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	要望・苦情の箱の設置。その都度、問題解決に向け申し送りやカンファレンス等で話しをしております。		
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月、月初めから中旬にかけて、各御家族様宛にDr (内科・歯科) の所見・生活の様子・金銭などの報告を兼ねて、『一言通信』を送らせて頂いております。		
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	相談・苦情等、ホーム内に窓口があります。御家族様へは、利用方法を文章と口頭にて説明し、お伝えしております。また、お客様相談室は、本社にもございます。		
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	各フロアのスタッフ会議や、全体会議の中で意見や提案は、交換するよう務めております。また、個人面談も実施しております。		
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	状況に応じて、管理者が勤務調整を行なっています。		
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動や離職の際は、ご利用者様が不安にならないように配慮し、いつも通りのケアが出来るよう、人員の補充やボランティアに来てもらうなどしております。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内・社外の研修に参加しております。		
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市内にある他の施設との行事を通しての交流会を持ち、サービスの質を向上させていくことを進めております。		
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	スタッフ一人一人に、1日1回は声かけをするように取り組んでいます。また、個々に話し合いをする場を設けております。		
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	フロア会議などで、向上心を持てる様に、スタッフが一つの議題について話し合っています。また、今年度、フロア長の交換研修があり、向上心を高め合う事が出来ました。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	ご利用者様の事前面談で、これまでの生活歴を伺い、ご本人様の求めている事、不安な事を理解し、受け止める努力をしております。		
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	面会時、一言通信や電話等で御家族様とのコミュニケーションを取り、どんな事でも対応できるよう、スタッフ間で話し合いながら、御家族様との信頼を深めるよう努力しております。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談の電話や、面会に来られた際、その時のご本人様の状態等を把握し、様々な観点から考えたサービスの提供を行なうよう努力しております。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ご本人様・御家族様が見学に来られた時、ここの雰囲気を見ていただき、施設の説明を行なう他、ご利用者様やスタッフとお話をされ、馴染めるように御家族様と相談しながら、支援の方法を工夫しています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	介護する側・される側関係なく、ひとつの家族として、個々に合わせた生活が送れるよう、努力しております。明るく楽しくまた、意思表示がきちんと出来るよう、ご利用者様を巻き込んだ生活をして、互いの信頼関係を築いております。		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	御家族様にお便りなどを通し、行事への参加を呼びかけ、ご利用者自身の事やホームの事を、より理解していただき、一緒に本人を支えていく関係を築いています。共に、笑顔になれる場を多く提供しています。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	ご利用者様の日頃の状況を随時報告・相談すると共に、外出行事等に参加して頂き、ご本人と家族との関係がより深まるよう支援しています。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	地域行事への参加を通し、ご本人様の馴染みの人や、場所との関係が途切れない様に支援しております。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	ご利用者様同士の関係がうまくいく様に席替えをしたり、会話の橋渡しをしたりしています。ご利用者様が孤立しないよう配慮しながら、お手伝いをお願いしたり、お声かけを日々行なっております。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用 (契約) が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退所後も、現在の様子を伺ったり、行事等お声かけをして参加して頂くよう努力しています。		
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常の様子から、ご本人様の意向を推察したり、御家族様からの情報・意向を把握し、早めに対応するよう心掛けています。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時の情報・御家族様からの情報を総括し、日常の様子などから一人一人の暮らし方を把握するように努めております。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	ご利用者様一人一人の生活リズムを理解し、その日の心身状態を総合的に把握するように努めております。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	カンファレンスで話し合い、アセスメントにより、御家族様の同意を得ています。	○	御家族様・ご本人様参加型のカンファレンスを可能な限り実施していきたいです。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的 (3ヶ月毎)、若しくは、介護度が変更した場合等必要に応じてカンファレンスを開催し、話し合いを行なっています。また、御家族様にも現在の状況を説明し、お考え等を伺い、現状に即した介護計画の作成に努めています。		

項 目			(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個々の体調面を把握し、その日の状態を申し送りにて共有する他、生活記録にて、過去、何日かの様子を観察することで情報を共有し、実践に活かして、すばやい対応をしています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	協力医院の往診が受けられる体制があり、電話連絡・往診等の対応で、ご利用者様の安心・安全が保たれるよう支援を行っています。また、医療リハビリ等や、機関への紹介も行なっています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	運営推進会議を通し、地域の方や、消防・ボランティアにも協力を得よう努力しております。		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	訪問理容サービス・訪問リハビリの他、社内で行なっているシニアセラピー等、ご本人様や御家族様の要望に応じ、他サービスとの連携をとっております。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議に参加される方々との関わりで協力を築く努力をしています		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居の際に、御家族様・ご利用者様からのご希望で「どうしても」という場合を除き、説明し納得して頂き、提携の内科医へ移行して頂いています。また、入居の際に、御家族様・ご利用者様に、説明納得して頂き、自由に主治医を選択できるように支援しております。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	必要に応じて、御家族様に随時報告し、専門医への受診を促しております。		
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	医療連携看護師が、週1回来設する為、日常の健康管理や医療活用の支援の他、緊急時対応の勉強会も行なう事が出来ます。		
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院された際は、介護サマリーを医療機関を届け、医師・看護師に容態を伺うなど、情報交換や相談に努めています。また、御家族様・医療機関・事業所が三位一体となり協働しながら退院に向けた話し合いが持たれています。		
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ご本人様や御家族様の意向を配慮しつつ、事業所が対応出来る最大の支援方法を踏まえて、スタッフ間の話し合いが持たれ、方針を共有しております。		
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	ご利用者様の対応について、出来る事・出来ない事等を職員全体で話し合いながら、御家族様や医師と連携を図りながら支援を出来るようにと、思っています。		
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	退去の場合、アセスメント・ケアプラン・サマリーの提供をすると共に、御家族様への今までの感謝の気持ちを告げております。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1) 一人ひとりの尊重			
50 ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	やむを得ずプライバシーに立ち入らなければならないような場面においても、他のご利用者様に気付かれないような言葉かけや行動に配慮しています。		
51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	ご利用者様の生活ペースに合わせて、その人らしく生活が送れるように支援しております。また、その都度、意向を伺いし、ご利用者様の判断を仰ぐようにしております。		
52 ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々の個性を大切に、『自己決定』『残存機能の活用』するなどして、ご利用者様の意思を大切に、支援しております。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	馴染みのある行きつけの理容院があれば、行って頂き、訪問理美容を活用なさる方は、その方の意向に沿うような形で、カットして頂いています。		
54 ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の支度や、配膳・下膳などをスタッフと一緒にこなしています。また、お誕生日会や行事の際は、なるべくお好みメニューを提供出来る様に努めています。		
55 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	その人らしく生活して頂くために、タバコ・お酒などを、状況を見ながら楽しんでいただけるよう支援しています。お茶の時間などは、お好きなものを飲んで頂ける様にメニューも考え、選んで頂いています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄チェック表を活用し、一人一人の排泄パターンを把握しています。自立した排泄に向けた支援をし、健康面でのサポートもしています。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	その人の生活を重視して、希望があり、体調が安定している場合、入浴を楽しんで頂けるように心掛けております。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	日中の活動を増やし、夜間は良眠出来るよう支援しております。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	個々の潜在している記憶や力を活かし、家事や趣味等、役割を持って頂いております。現在、『水やり当番』『日めくり係』等の係活動を行なっている。		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	スタッフの付き添いの元、出来る方は買い物の際、レジにて自分でお金を支払って頂き、おつりを確認して頂くなどの支援をしています		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	職員の付き添いの元、散歩や買い物に出かけ、季節の変化を感じ取って頂いたり、気分転換を図る支援をしています。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	季節に応じ、紅葉狩りなどの遠足に出掛けたり、御家族様に協力して頂き、外出したりと、これからも外出支援をしていきたいと思っております。	○	年に1～2回の1泊旅行は決行出来ておりません。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご利用様様の希望があれば、必要に応じて電話したり、手紙のやり取りが出来るように支援しております。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会時間を定めず、面会の際に居室などでゆっくり過ごせるよう配慮しています。また、お茶やお菓子の提供も行っています。		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束は行っていません。自由で安全な生活が一人一人出来る様に、ケアに取り組んでいます。		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	『鍵をかけなくても安心』という環境を作り、ご利用様との信頼関係を作っていけるよう日々努めております。玄関のみは、目の前が道路で、車の往来が激しいので、セキュリティーを導入しております。		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日中・夜間を問わず、所在の確認や見守りを行っています。また、危険箇所の有無も確認しております。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	注意が必要な物品の保管は、職員で把握し、管理方法を決めています。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	勉強会等で、事故報告・ヒヤリハットなどの事例を活用し、一人一人の状態を把握したケアを行うよう努めています。社内で行っている『安全対策委員会』にも参加しています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	緊急時対応マニュアルを、時々確認し、会議等においても話し合う機会を定期的に行なうよう努めております。		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	事業所の所在地区は、海と山の為、避難する場合は動けないと思います。今年度、防災頭巾を揃えました。これからも少しずつ物資を揃えていきたいと思います。	○	地域の方の協力を得ての避難訓練を実施していきたいと思います。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	日頃より、御家族様との情報交換を行なっております。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	普段の状況を把握する為に、1日2回(午前・午後)のバイタルチェックを行なっております。小さな変化も、申し送り時、スタッフ同士共有し、速やかに対応するように努めております。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬チェックを行い、薬の内容も、直ぐに目の付く所で確認しております。薬剤師による勉強会も行なっております。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	水分の摂取や運動の促進を行い、便秘を予防出来るよう、水分量のチェックや、排便の確認など行なっています。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、一人一人に合わせた対応で、口腔ケアを行なっています。月4回の歯科医による往診があり、歯科医師・歯科衛生士の指導の下、支援を行なっています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	体調や身体状態に合わせて、常食・一口大・きざみ・ミキサー・トロミ食と配慮し、無理に食すのではなく、楽しんで食事をしていただけるように心掛けています。また、食事チェック表を活用し、食事量のチェックをしています。		
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	協力医療機関の勉強会に参加しております。感染症マニュアルを参考に、予防出来るよう努めています。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食材の賞味期間の確認をし、賞味期限内に必ず使用しています		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関には、絵画や花、ご入居者様の作品を飾ったり、家庭的で温かい雰囲気になるように配慮しています。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関や居間には、季節感のある物を飾るよう心掛けています。トイレも気持ちよく出入り出来るように、清潔に配慮し、和やかな空間になるよう努めています。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアには、テレビやソファを置いて、家庭的な共有の空間作りをしています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時、使い慣れた日用品を持ってきて頂いており、仏壇を持参されている方もいらっしゃいます。テレビ・チェアー・アルパムなど、ご本人様が心地よく過ごせるよう配慮しております。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のとどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	定期的な換気を心掛けています。冷・暖房については、ご利用者様の状態を気にしつつ、冷やし過ぎ・暖め過ぎないように、心掛けています。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内部は、バリアフリーになっており、手すりも完備されている為、安全で自立した生活が送れます。また、1階については、窓を開けると直ぐに外に出れる為、外気浴・日光浴を楽しまれています。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	混乱や失敗をする前に、気付けるように、見守りや声かけをし、自分で出来る事はやって頂き、自立した生活を送れるよう支援しています。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	ベランダでの外気浴や歩行練習の他、植物を育てたりしております。		

V. サービスの成果に関する項目		
項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	☐ ①ほぼ全ての利用者の
		☐ ②利用者の2/3くらいの
		☐ ③利用者の1/3くらいの
		☐ ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	☐ ①毎日ある
		☐ ②数日に1回程度ある
		☐ ③たまにある
		☐ ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	☐ ①ほぼ全ての利用者が
		☐ ②利用者の2/3くらいが
		☐ ③利用者の1/3くらいが
		☐ ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	☐ ①ほぼ全ての利用者が
		☐ ②利用者の2/3くらいが
		☐ ③利用者の1/3くらいが
		☐ ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	☐ ①ほぼ全ての利用者が
		☐ ②利用者の2/3くらいが
		☐ ③利用者の1/3くらいが
		☐ ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	☐ ①ほぼ全ての利用者が
		☐ ②利用者の2/3くらいが
		☐ ③利用者の1/3くらいが
		☐ ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	☐ ①ほぼ全ての利用者が
		☐ ②利用者の2/3くらいが
		☐ ③利用者の1/3くらいが
		☐ ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	☐ ①ほぼ全ての家族と
		☐ ②家族の2/3くらいと
		☐ ③家族の1/3くらいと
		☐ ④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、活き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

ご入居様のお顔の表情がにこやかです。ホーム理念『地域に根ざした明るく楽しいホーム創りを!』に沿い、地域交流が多いです。それに伴い、楽しい行事も行なっています。現在、長期目標として、その方がその方らしく、元気に生活して頂く為に、<1>係決めをして役割分担(ベランダの野菜への水やり 他)<2>筋力低下の防止(体操・階段の昇降運動 他) を実施しております。